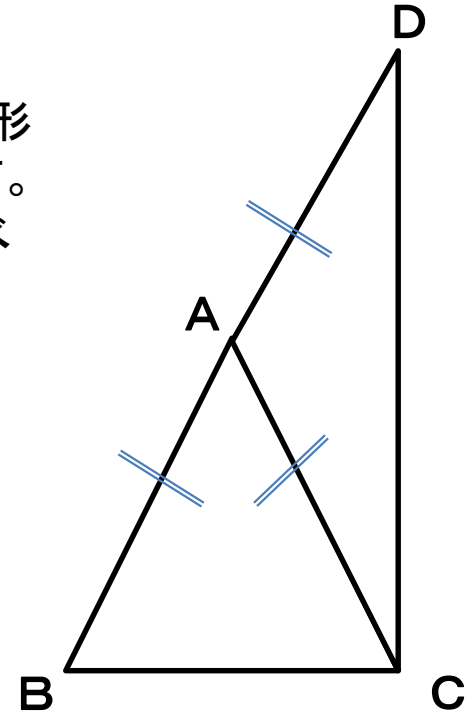


~2020年度「校長室からの挑戦状NO. 16(7/7)」~ (切: 7月13日)

問題1:

右の図において、三角形ABCは $AB=AC$ の二等辺三角形です。また、三角形ACDは $AC=AD$ の二等辺三角形です。このとき、三角形BCDにおける角BCDについて、正しく述べているものを選び、その理由を書きなさい。

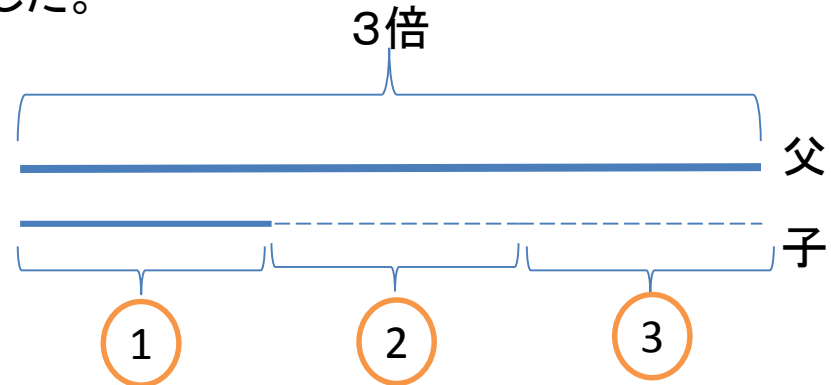
- ① 常に直角(90度)になる。
- ② いつも直角(90度)になるとは限らない。



問題2:

12歳の高道さんの父親は50歳です。父親の年齢が高道さんの年齢の3倍に達するのは何年後ですか。小学生のAさんは次のような図を書いて考えました。これを参考にして考えてください。(考え方や式も記入してください。)

A: 父親と子供の年齢差は変わらないんだよね。
△年後の父と子の年齢図に表すと……



問題1

どちらかに○をつけてください。

- ① 常に直角(90度)になる。
- ② いつも直角(90度)になるとは限らない。

<理由>

△ABCおよび△ACDは二等辺三角形であるから
 二つの底角は等しい。
 よって、角BCD(角ACB+角ACD)は
 △BCDの1/2になっている。

角の和の

問題2

父と子の年齢差は38である。
 図より、①=②=③であり、
 各々19であることがわかる。
 よって、 $19 - 12 = 7$
 7年後